

2

成長期は見た目が気になる年頃

子どもから大人のからだへと成長するこの時期は、思春期ともいわれ、自分の見た目がとても気になる年頃です。

たとえば、おしゃれ。

今や子どもの雑誌でもメイクやパーマなどを取り上げ、おしゃれしたい気持ちを後押ししています。また、おしゃれを楽しませてもいいと考える保護者の方も増えていて、おしゃれはますます低年齢化してきています。が、子どもの皮膚は、大人のようなバリア機能がまだ十分にはできあがっていません。大人が使っている化粧品やアクセサリなどが子どもの肌に触れることで、強い刺激となり、皮膚トラブルの原因になってしまうことがあるのです。最近では「おしゃれトラブル」と呼ばれ、この時期の子どもに気をつけたい皮膚トラブルのひとつとなっています。

また、見た目といえば、顔のニキビも気になってくる頃です。

ある調査によると、ニキビのある中高生のうち、52.2%がニキビで悩んでいると報告されており、ニキビが心に及ぼす影響は想像以上に大きいようです。また、ニキビによる嫌な経験があるという人は14.0%という報告もあり、ひきこもりがちになったり、友達にからかわれるなど、いじめや不登校の原因にもなりかねません。たかがニキビと考えずに、家族や身近な人が相談にのってあげることが必要です。

